

# 平成 24 年度

## 第 6 回研究会より

参加者 9 人+森田智幸（山形大学講師）先生

本日は、山形大学正門に朝 9 時 30 分に森田智幸先生と約束して、お会いし、そこから新庄に私の車に乗っていただき、本研究会に参加していただきました。

森田先生は、今春から山形大学講師に赴任なされた、教育研究者です。まだまだお若く、30 代だそうです。東京大学に入学して以来、佐藤学教授（現学習院大学教授）の授業を受けて衝撃を受け、佐藤学研究室に入り、佐藤研で、長く学校教育の授業改革の調査をはじめ、教育史等を研究してきたということでした。道中、車内でたくさん興味深い内容のお話をいただくことができました。お迎えに行った者の特権でした。先生は、私たちが日頃、学校現場で使わないような新しい言葉を使ってお話されてくれるので、今までの当たり前に見えてきた世界が、別の角度で見れるようにしてくれるというのが私の実感でした。

例えば、授業研究会で、自分だったら・・・とか、事実に基づかない語り口は、佐藤研ではご法度だということ。研究紀要は、以前は読んでいて楽しいものだったが、いつからか、味気ないものになってしまったこと。それは、以前は、「わたしは・・・」という書き出しの文だったのに、今は、そのような書き出しの文章がほとんどみられなくなったということ。

お話しているだけで、大変勉強になります。

今後とも、新庄・最上をフィールドにさせていただき、アドバイザーになってくれることをお願いしました。

そういえば、本日の研究会が終わってから、笹原さんはもうすでに勤務校に森田先生を 6 回招聘することが決定していますが、三上さんや丹さんも一生懸命森田先生を勤務校に来ていただこうと懇親会などで交渉しておりました。参加者全員、森田先生の示唆あふれるお話に感銘を受けました。

### 1 今年度の研究会の提案

まずは、森田先生を交えて、参加者全員自己紹介をした後、高橋の方から、今年度の本研究会の持ち方について説明と提案をしました。

昨年度の最後の回でも申しました通り、今年度は、プロデュース制での研究会を進めていきたいと提案し、了承していただきました。

※プロデュース制とは？

その回の会の企画や運営全般を自由に行っていく制度とってください。もち

ろん、その回の前半の部分のみでも結構ですし、ビデオカンファレンスで使う映像を持ってくるのでも構いません。ワークショップ形式でもよいです。自分の悩みについて、討論するということもできます。できる限り個人でお願いしたい。サポートは高橋晋が行います。どうぞ自分でやってみたいことや、プレゼンしたいことなどを自由に行ってください。

現在のところ決定したものです。

	予定実施日	プロデューサー（案）	備考
1	5月19日（土）	高橋晋（懇親会あり）終了	13 駅伝、27 小運動会？
2	6月30日（土）	丹さん	16 中総体前、23 中総体後
3	7月7日（土）	保科さん	21 県中総体、30 教育課程
4	8月4日（土）	三上さん	1 地区教研、25～新庄祭り
5	9月1日（土）	高橋欣（予定）	22 地区新人前、29 新人地区陸上
6	10月13日（土）	阿部さん	20 北ブロック、27 文化祭？
7	11月17日（土）	？	3 文化の日、10 新庄教育の日
8	12月8日（土）	？	18 三者面談？23 クリスマス
9	1月26日（土）	？	
10	2月23日（土）	研究発表会	16 スキー大会、
11	3月23日（土）	研究発表会	16 中卒業式、25 小卒業式

？の日はまだ募集中です。希望がなかったときは、笹原さんや高橋晋が行います。

## ※2月や3月の研究発表会とは？

「1年間で何か研究をしてみましよう。この単元で1つ工夫したこと。長年思っていたことを実践してみた。公開研に参加して学んだ。教材を開発してみた。何か1つ、この1年でがんばることを設定し、それを2月か3月に発表会しましよう。」

ということで、下記のシートを使って今年1年、テーマを決めて個人研究することをお願いしました。

[配布したシートはこちらから](#)

## 2 ビデオカンファレンス（中学3年 国語『敬語』）

今回は、平成18年度に実践されたビデオを持ってきました。この学校で高橋晋が校内研

究主任をして3年目を向かえた年の授業の1つです。授業改革3年目ということでひとつの区切りの年度の授業で、授業者は他地区から人事交流でやってきた女性の教諭です。

森田先生がこの授業をみて気づいたことなどを、STOPという欄に書き込んでみました。ビデオを見て1コマ1コマ止めて、お話になったのではありません。協議会の中で森田先生がお話になったことを随所に書き込んでいったものです。

### 【授業の様子】

T: さあこれまで、敬語ってどういうのあるかな。どういう風に使っていくのかなあっていうのを知識としてみなさん勉強してきました。軽く復習してみようと思います。敬語には3種類ありました。さあなにになにあったかというのをわからない人手を挙げて。ハイ女子はみんなわかるね。S1さん、なにになにありましたか。

S1「尊敬語、謙譲語、丁寧語」

T: 賛成の人

T: 丁寧語っていうのは「です」「ます」ですね。それではもうひとつ確認しよう。尊敬語と謙譲語、自分を低めることによって、相手を高めるのは、どっち？どっち？

S (全体): 謙譲語

T: そうですね。じゃあもちろん、相手自身を高めて使います。

S (全体): 尊敬語

T: じゃあちなみに、話題の人がでてきます。第三者です。相手側の人の時には話題の人はどっちを使いましょう。

S: 尊敬語

T: 自分側だったらこの人に対しては？

S: 謙譲語

T: このように尊敬語、謙譲語、丁寧語を勉強しました。あとは難しいのは話題の人の扱いです。あ、こういのもありましたね。家族。自分にとっての家族。さあこのときはどっちを使う？はい、ちょっと見て

忘れた？家族、自分にとってはどっち側？

S: 自分側

T: 自分側だから家族には・・・

ということで、今日は、いろんな場面に遭遇すると思います。そこで、架空の場面なんですけど、8つの場面で是非その役割のときにはどんな言葉を使うか、最後には役を演じてもらいます。

ネーム張っているけど、どんなシナリオかわからないね。大丈夫ですか。

緑の紙をみてください。

登場人物をみてどんなな立場なのか考えてみてください。簡単な4人の人間関係かメモなどで確認しながらしてください。全部直すと大変だから、セリフだけを直してみてください。最後は劇しますので、セリフができれば、動作も出来る限り考えて。今回はセリフの使い方演技の勉強じゃないから。

(笑い)



それでは緑色の紙（やり方が説明している紙）を出してください。  
社長は上かな？とか4人の人間関係をメモにしながら……。全部せりふを直すのは大変だから、自分のところだけで治してください。  
そんなに劇団指揮みたいにやらなくていいからね、翔くんね。  
（笑い）  
ね、今回は、劇の勉強ではないですから。  
どうですか？大丈夫ですか？  
大丈夫な人？

じゃあ代表の人、シナリオとりにきてください。  
代表：シナリオとりにきて配る  
グループになってください。それではどうぞ。  
（非常にスムーズに4人グループになっていった）

#### STOP

ここまで、6分。やはり長いと感じた。その証拠に、授業者の説明で、9人が落ちている（下を向いたり学習机から脱落している様子）。授業者もこれは十分感じていて、途中、冗談をいってみたり、「はい見て」といっているのは多分本能みたいなものだろう。緑の紙を出すような支持を途中いれていたが、生徒たちはもうすでに机の上に緑の紙が載っている。もう早く活動を始めたくて仕方が無かった。でも授業者は前時の復習をしたりして、生徒の気持ちとのずれがあったようだ。

ここからは、Fグループに張り付いたビデオ映像で見ていく。（この当時、授業研には3台のカメラを導入していた。授業者が気になる生徒を2人あげて、その2人の生徒がいるグループをひたすら追いかけるカメラと全体を撮ったカメラの3台である。）

#### Fグループの様子

K：やや学力が低い男性生徒（店長）      N：しっかりものの女子生徒（バイト1）      M：多動がある男性生徒（お客） G：おとなしいが聞き役が上手な女子生徒（バイト2）

#### 活動開始

男性生徒Kがなかなか活動を始めない。となりのNが鉛筆でつつんKのプリントをたたくとようやく始めた。

自分の役の部分の敬語を変えていくので、それなりに各自個人活動している



N：え、これシナリオおかしいよ。

G：バイト1おかしいね

M：おかしいね

N：O先生ここおかしいよ

O：えどこ？

N：バイト1と2がおかしい

O：あここはバイト1が呼ばれたから・・・

N：あ～

MとKがタバコの演技をし始める。

M：客ちょっといらいらしている系だから、タバコしているふり

K：裏でやっている方がいいじゃない

### STOP

NやGは、セリフが多いため、なかなか作業が終わらない。

それに対し、セリフが少ないKやMは、どうでもいい演技の話やタバコの話で盛り上がっている。これは前者が、最後は演技を見せてもらうという、ゴールを提示したことが、これ以降機能してくる。女子生徒の作進んで参加してくるのである。演技は、よく授業で使われるとき、表現の共有などの意図などで仕組まれるしなくてはならないということが、本質でない学びに入った男子生徒を呼び戻す枠になっていることが興味

N：よし、読み合わせしよう？

M：しようぜー

N：いらっしゃいませ 何になさいますか

M：じゃあダブルバーガーとコーヒーをください

N：かしこまりました。少々お待ちください

G：手招きの動作

N：G先輩どういたしました？

G：こういうときはセットをすすめる みてろ

N：はい わかりました

G：お待たせしました いまセットを頼むと得です ポテトとサラダとドリンクがつきます

M：いえ いりません

G：そうおっしゃらずに本当にお得ですよ

M：だからーポテトはいらないとっているじゃないですか

G：ぜひお考えください 損は絶対にいたしません

K：どうかしましたか 何かこいつがわることしたのでしょうか

N：こいつとか言わないでしょ？

K：えだってこいつでしょ

N：お客さんの前で？

K：「この人」は？

M：うちの店員は？

N：ああ、うちの店員ね

K：うちの店員に書き直す

K：うちの店員が何か悪いことをしましたか なんでも行ってみてください

M：無理やりセットを進められて困っているんですよ

K：すみません よく言って聞かせます その代わりにサーブスでポテトをお付けいたします

M：いいんですか？ありがとうございます

K：お客に失礼なことするなといっているだろ

N：G先輩がそうしろと言っていました

G：申し訳ございません 今後一切このようなことは内容にいたします

N：店長なんか

K：何かおかしいか？

N：サービスでポテトつけるのなんかおかしい

M：ポテトいらないとっているのにつけるか？

N：確かに

G：確かに

K：サービスでポテトつけたい・・・んタダでかな

M：O先生！

N：そうだよね

M：O先生

M：ポテトへんじゃないですか

O：あ～ごめんなさい サービスでなんかつけたいね

M：チキンナゲットでいぐね？

N：チキンナゲットで

O：(笑い) そこまで吟味してくれてありがとう

K：空港券の方がいぐね？

N：いいよ、チキンナゲットで

この後、3回読み合わせをしながら、互いのセリフを直していった

## STOP

授業者はシナリオを敬語に変革させようという意図で作成しているが、生徒にとってはあくまでも現実問題  
えている。だからポテトがいらないとっている客にポテトをサービスすることに読み合わせを通して違和感

タバコの関係ない話をしていた男子2人がいきいきと学びあいに加わっている。また、吟味したり、敬語  
あったときNに聞いたり、本質的な問題や難問などは異性に聞いている場面がはっきり現れている。やはり  
題を扱うときは異性同士のかかわりが強くなることを見て取れた。4人のグループの配置を一桁模様にして  
能している。それにしても、この教室は女子がいい。学びを支えている。しっかりもののNもすばらしいし  
なしいがしっかり聞き役に徹している。だから、途中指でドラムのリズムをきざんでいるMにも忍耐強くなる。

T: はいそれではグループをもとに戻して、劇を発表してもらいます。今日は時間の関係上2つのグループにしてもらいます。  
じゃあ Fグループさん

Fグループの発表が行われていく

発表後、

N: 何か質問はありませんか?

H: はい、何かわからないけど、損は絶対にいたしませんといったけど、いたすは謙譲語だからなんか変だと思う

T: いたすは相手だから何がいい?

S: 損は絶対にさせません

T: そうだねいい指摘ありがとう

### STOP

「ここはどうするのかわからないけど気になる」「何かわからないけど気になる」のような完成されないことばが出るのがすばらしさ

質問と訂正が後2回行われた

T: さあ、ではFグループさんありがとうございました。拍手!

拍手

T: 店長。店長の言葉でひとつこうしたらっていうのあったんだけど。わかる? Kくんその行いってみてください

K: 申し訳ありません。よく言って聞かせます

T: わかる? 悪くない 悪くないんだけどもうちょっとこうしたらっていうところ

T: 申し訳?

生徒: ごげません

T: そうね。やっぱりトラブルになっていることを考えるとより丁寧な方がいいと思う

### STOP

この場面はとっても面白い場面。教師の敬語感と生徒の敬語感のずれが生まれている。教師にとっては、生徒にとってはあまり気になっていない。だから、直したほうがいいところ1箇所といっても、ほとんどなかった。

ここでO先生は、正解という形として、提示しているのであるが、このようなズレがどうして生まれたのかあてると授業に本当のねらいに近づいただろう。

ズレというのは大切で、授業のどこにズレをうまらせるのが大事な授業作りのポイント

それでは、もうひとつの班と思ったんだけど、ちょっと時間がきてしまいました。そこで残りは次回にします。

S: 起立・礼

バイト1…よく来た  
バイト2…何にする  
お客… じゃあ、ダブルバ  
バイト1…わかった。ダブル  
(バイト2に手招きで呼ばれ  
バイト1…ちよつと待ってい  
見せの奥に移動  
バイト1…どうした?  
バイト2…こういうときは、  
バイト1…うん、わかった  
バイト2…待たせた。今、セ  
お客…いらぬ  
バイト2…そういうな。本当  
お客…ポテトはいらないとい  
バイト2…是非考えろ、損は  
店長…どうした? こいつが何  
え  
お客…セットをすすめられて  
店長…すまん。よくいつてき  
お客…ポテトをつける  
お客…いいの。ありがとう  
店長…客にいつも失礼なこと  
バイト1…バイトーがすすめ  
バイト2…すまない。こいう  
きをつける

【研究会で話題になったこと】

- ・Kの変容が面白い
- ・机の配置とななめのやりとり
- ・テキストと発表の間をつねに戻っていた
- ・ねらいは何だったのだろう。指導案などをみるともっと具体的にしたいものだ
- ・改革3年目ということだったが、ちょっと1年目のような感じにも受けた。やはり授業改革は苦戦していたのか
- ・タバコの関係ない話から、学びあいに戻ってきた男子の2人のスイッチは何だったのだろう

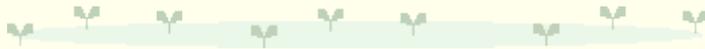
※ 森田先生から、佐藤学研究室で研究した資料を2部いただきました。本当は読み合わせをして、森田先生の解説を聞きながら行う予定でしたが、時間がきてしまい、簡単な森田先生の解説で終わってしまいました。とっても興味深い資料で、いつかこの資料を読み合わせしたいものです。わざわざご準備していただいた森田先生に感謝です。





今回は、S中学校をお借りしての研究会でした。関係者の皆様に感謝でいっぱいです。

夜の懇親会も森田先生も加わり盛大に行うことができました。ありがとうございました。



[戻る](#)